



総合学科の創造性 地域の力に
に し め
新志芽通信

No.027

(令和6年度最終号)

令和7年3月4日
秋田県立西目高等学校

卒業式 【3月1日(土)】

好天に恵まれ、春が感じられるとても暖かなこの日に、3年生120名の卒業式が盛大に行われました。在校生送辞は現生徒会長である小沼夢菜さんが行い、卒業生答辞は前生徒会長の大野祥雲さんが行いました。3年生はコロナ禍の中での入学から、少しずつ日常をとりもどして、新志芽祭をはじめとする学校行事を成功させてくれました。また、サッカー部、ボクシング部などの部活動の活躍がめざましい学年でした。在校生のみなさんは先輩たちの伝統を受け継いで、よりよい西目高校を作っていきます。



先輩講話 【2月25日(火)】

9名の3年生が、進路決定までに苦労したことやうまくいったこと、先輩たちにこれから頑張ってもらいたいことなどを話しました。就職、進学それぞれについてのアドバイスに1・2年生のみなさんは一生懸命にメモをとりながら真剣に話しに耳を傾けていました。(今回話した内容は、来年度の「進路の手引き」に「合格体験記」として掲載されます)

～1年生の感想から～

先輩たちの話を聞いて、学習についてや、面接のことなどを知ることができました。将来のために大切なことも知れました。先輩は定期考査を一回一回大切に、面接練習はたくさんした方が良いと言っていた人が多かったため、私もそれを大切にしていこうと思いました。進路を考えるとき、進路先を調べたりすることが重要だと言っていたので、色々調べてみようと思いました。



2年生 探究活動発表会 【2月27日(木)】

今年度、週2時間の「新志芽学」の時間で、「探究」について学び、活動してきました。各分野で発表会を行い、代表となった10班が1・2学年の生徒に向けて発表しました。それぞれの班が興味を持ったテーマに対して、一生懸命に調べたり、実験したり、まとめたりしたことが伝わってきて、とても内容の濃い発表会になりました。



番	テーマ	生徒の感想
1	西目高校生のMBTIについて	1年、2年、3年で一番多いMBTIをアンケートしていて、各学年の特徴を捉えていておもしろかった。
2	どうすれば人の手をかけずに農作物を育てることができるのか	テーマ設定の理由がすごく良かった。実際の人物から知恵を借りて次は実際にやってみようという心意気が良かった。
3	起業体験プログラムについて	実際に行った活動から深く考えて起業のことを発表しているなと思った。起業の大変さがわかった。
4	特撮ヒーローが実在したら・・・	自分の趣味全開で、深いところまで調べたり、実際に自分で実験したりしてとても興味深い内容だった。
5	パーソナルカラーはどのように活用されるのか?	パーソナルカラーはいろんな業界で使われていて、私たちの生活の中でも、メイクや服装選びに活用されていると知った。
6	濃硫酸を用いないエステル合成方法の検討	エステルという物質のでき方を知ることができた。理科の授業並みにしっかりした発表だった。
7	どうすればたくさん人の目を惹く絵を描けるだろうか	黄金比、原色を使用して絵を描くと人の目にとまり、心を惹く絵ができることが分かった。
8	食物アレルギーの子どものためのお菓子	自分の経験から子どもたちが食べられるものは何かという考えに至っていて、すごく良いなと思った。
9	ダンスの歴史から考える今のスタイルについて	ダンスにもいろんな種類があって、歴史も深いことに驚いた。ダンスの歴史がよく分かった。
10	食べるものによって筋肉量(体重)はどう変化するのか	筋肉量とタンパク質について分かった。それぞれ調査して結果を出していて面白いと思った。

Aターン事業の紹介 【2月18日(火)】



3年生の進学者48名を対象に、「秋田県の移住や就職に関する支援制度（Aターン事業）の紹介」講座が行われました。講師は公益財団法人秋田県ふるさと定住機構の松山定さん。Aターンをして秋田に定住してほしいということや、秋田県内にたくさんの企業が誘致されており、いろいろな仕事ができるようになってきていることなどが話されました。秋田県の活性化のために行政、一般企業ともに力を入れていることがよくわかりました。



秋田に誘致企業が続々進出

- ・令和5年度 24社
- ・令和4年度 13社
- ・令和3年度 12社
- ・令和2年度 5社
- ・令和元年度 16社
- ・5年間で70社の企業を誘致
- ・大手企業関連の事業所多数、情報通信関連の事業所多数
- ・誘致企業の給与や福利厚生は、首都圏レベルが目立つ！



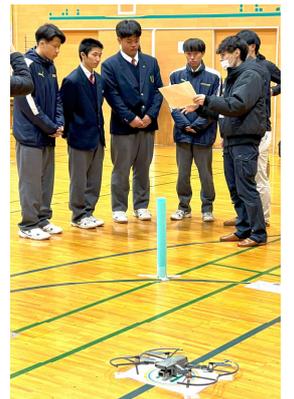
社会人準備セミナー 【2月18日(火)】

ハローワーク本荘の日野仁さんに来校していただき、3年生の就職決定者72名を対象に「社会人準備セミナー」が行われました。職場での礼儀、マナー、コミュニケーションなど大切なことを再確認することができました。また、早期離職者が多いことにも触れ、仕事上のストレスをうまくコントロールする必要があり、職場で相談できる人を見つけることやストレスを解消できる趣味を持つことなどが大切という話がありました。



《土木系列》 測量技術研修会 【2月26日(水)】

由利地域振興局建設部が主催し、土木系列の2年生を対象とした研修会が行われました。最新の測量機器に触れ、測量業により興味を持ってもらうことを目的として、電子レベル測量、3次元レーザー測量、UAV操縦の体験を行いました。生徒たちは普段授業で扱っている測量機器との差を体感し、積極的に技術に触れようと前向きに取り組んでいました。



《1年生 産業社会と人間》 マイライフプラン発表会 【2月26日(水)】

本校の特徴である「総合学科」では、1年次の「産業社会と人間」の授業で、自己分析と自己理解、社会や職業などについて学びます。それを踏まえて、これから自分はどのように生きていくかを考えるために、「マイライフプラン」を作成します。高校1年生で人生をじっくり考えることができるということで、とても貴重な時間となっています。今回は、各クラスでの発表会で選ばれた代表16名が学年全員に向けて発表を行いました。それぞれがしっかりと自分の考えをまとめ、これまでに学んだこと、今後の夢や目標について話してくれました。裏面に4名の生徒の発表を載せましたので、ぜひじっくり読んでみてください。



「齋藤日菜のマイライフプラン」

1年1組 齋藤日菜



私は将来、栄養士になりたいと思っています。栄養士になりたいと思ったきっかけは中学生の時です。小さい頃から好き嫌いが多く、栄養バランスが取れていないと感じ始めていた時に、母から栄養士を勧められました。栄養士という名前は知っていたけれど仕事内容を詳しく知らなかったので栄養士について調べてみると、栄養士は栄養学に基づいてバランスの取れた献立の作成などを担当する仕事だと知りました。それから栄養について興味を持ち始め、自分自身の健康だけでなく他の人達を食事で助けたいと思い、栄養士になりたいと思うようになりました。

現在の悩みは、栄養士と管理栄養士の2つの職業選択です。栄養士は都道府県知事の免許を受けた資格であり、学校の献立を作るなど主に健康な人を対象とした仕事で、管理栄養士は都道府県知事の免許の資格ではなく国家資格で、傷病者や病気を患っている人の状態を見て栄養指導をすることを中心に仕事をしています。栄養士の資格を取るなら短期大学へ、管理栄養士の資格を取るなら4年制の大学への進学を考えています。家族はどちらの進路に行ってもサポートすると言ってくれています。栄養士と管理栄養士のどちらかの職業に就くかによって進学先が変わるだけでなく、もらえる給料の金額なども変わってくるので私の人生の大きな分岐点だと思います。残りの時間は少ないので、家族や先生とも話し合っただけで決めていきたいと思っています。

高校卒業後は、4年制の大学が短期大学のどちらかに進学して栄養について最低でも二年間大学で勉強をしていきます。進学先でも勉強と資格取得を頑張りたいです。栄養士と管理栄養士では、資格の難易度は変わってきますが、2つの職業は資格が必ず大切になってくるので、勉強を一生懸命取り組んで将来の夢を叶えるために頑張りたいです。短期大学は、秋田市に何校か学校があるので家から通うことができますが、4年制の大学は県外進学になり一人暮らしになります。家族がいつもやってくれている家事などを自分でやらないといけないので、今からでも家族の手伝いをするなど自立した生活を心がけていきたいと思っています。

進学先を卒業したら、就職して栄養関係の仕事に就き、知識を活かしてボランティア活動に積極的に参加したいと思っています。日本は災害が多い国なので地震や大雨で避難してきた人の中に食物アレルギーで食べられるものに制限がある人や、高齢者でご飯を噛んだり飲み込むことが難しい人がいると思うので、沢山の人が大変な思いをしている時に私の栄養の知識でサポートしたいと思っています。大学に行ったら、災害時の支援活動についての授業を選択して社会に貢献したいです。

私が考えたマイライフプランは必ずしも全てがうまくいくとは限らないし、失敗することもあると思います。しかし、今から取り組めばその失敗を少しでも防ぐことができるかもしれないと考え、今後の学校生活で意識していきたいことをまとめてみました。

1つ目は家事です。もし4年制の大学を選ぶと一人暮らしになるため、今よりも家事を手伝って自立し、一人暮らしをする時の負担を減らしたいと思っています。2つ目は勉強です。高校生のうちから勉強に意欲的に取り組むことで学力向上に繋がるだけでなく、粘り強く取り組む力をつけることができます。また、その力は社会に出ても必要になるので、何かを一生懸命取り組むことは将来にも役立つと思います。その力を身につけるためには、なにか行動を起こして継続することに意味があると思うので、とても大変だと思うけれど自分の成長のために努力していきたいです。最後の3つ目は挨拶と言葉遣いです。社会に出ても挨拶をすることや目上の人への言葉遣いは礼儀でもあるし、挨拶や言葉遣いは初対面の人の印象に大きく影響するので良い挨拶、言葉遣いを意識したいです。自分の将来の夢を叶えるためには、高校生の今から身に付けなければいけないことはたくさんあると思います。社会に出ることはまだまだ遠い様に見えて、時間はあっという間に過ぎていくと思うので今できることを精一杯頑張りたいです。

「将来の夢のために」

1年2組 朝岡心



私の将来の夢は音響エンジニアなど、コンサート・イベント関連の会社に勤め、みんなで1つの箱を作ることです。きっかけは単純で、ライブやフェスに参加したときや、コロナ禍で何年も延期され、待ちに待った公演に参加したとき、そのときに感じた一体感や感動をつくりだしたアーティストに自分も携わりたかったからです。私は小さいときから人と関わり、協力しながらできる仕事が好きで、自分には向いていると思っていたので、そこに趣味や興味のあることをプラスした仕事を頑張りたいと思います。この職業に就きたいと考えています。

「先輩講話」の授業からたくさんの進路や、人生観について教えてもらう中で、自分の将来を真剣に考えたほうが良いと思います。まずは気になる職業から調べ始めました。その数カ月後の産社の授業で、「職場・学校施設見学」に行った際、この仕事をしてみたいか、自己のために役立っていると実感できるか、そして、自分の得意なところや興味とつながる部分はどこかなど、今後将来を考えていくうえで大切になってくることに気づき、本当に自分がやりたいことを絞っていきました。

新志芽祭のとき、実行委員に入っていたためステージ裏の仕事をさせてもらえる事になりました。その際、照明や音響調節のために学校に来ていた、ミキサーさんとローディーさんに話を聞くことができました。「たしかに移動やトラブルなど大変なところもたくさんあるけれど、楽しいよ。」とおっしゃっており、働く上でのやりがいについて教えてもらうことができました。そこから、自分は何を大切にしたいのかじっくり考えていきました。

入学当初は、将来の夢や、具体的にやりたいことがハッキリ見つからず、とりあえず副教材のある教養文化系列を選びました。もともと勉強は得意な方ではないのですが、個々に授業を選択できるので、自分の得意科目を中心に選び、徐々に成績を伸ばしていくことができました。

進学したいという気持ちはあるけれど、専門学校へ行き必要な技術・知識を磨くのか、大学へ行き興味や関心のある分野を学びつつ、バイトなどで現場の場数を稼ぐのか、どちらもメリット・デメリットがあり、自分にとってどのような環境が向いているのか、とても悩みました。数十年後も充実した生活を送るために、仕事や将来の夢を考えてきたけれど、専門学校に行ってもそれしか使えない、若いうちにできることをしっかり考えたほうが良いなど、いろいろな方面からアドバイスをもらいました。多くの意見を聞いているうちに、自分が本当にそれになりたいのか、そして、好きなことを仕事として良いのか、特に悩みました。

ずっと何もしていない状態は嫌だったので、実地をしっかりと見ようと思いホールやアリーナなど小さい箱も大きい箱も関係なく、たくさんの会場に行きました。演奏が始まると、会場にいる小さい子からシニアまで、幅広い年代の人々が心から楽しんでおり、アーティストがキラキラして見えました。休憩時間に一瞬で楽器・機材セッティングしているスタッフや、後列の客席の後ろに構えているエンジニアの人たち、裏で支えているコンサートスタッフの姿が目に入りました。そんなたくさんの人々の姿を見てとても厳しい業界と言われていますが、「ここで頑張りたい！」と思いました。

もう少しで2年生になります。あっという間に高校生活が終わってしまう前に、今できることに何でも挑戦したいと思っています。自分の興味をもっと深めるために、進学先で学びたい分野について調べ、実際の業界や仕事について、インターネットや本、専門家の話を通じて理解を深め、よりモチベーションを高めたり、アルバイトなど実際に仕事をする中で、協調性や責任感など、必要な社会経験を早いうちに積んだり、おばあちゃんになっても元気で暮らしていきたいので、食事や睡眠、運動などを毎日意識して、自己管理能力を高めていきたいと思っています。これからの人生、いろんな事が待っているけれど、どんなことも楽しみながら学び、経験していこうと思います。

「わたしのライフプラン」

1年3組 佐々木心咲

私は将来、人を笑顔にしその人の世界をぱっと輝かせる人になりたいと思っています。そのために、私は美容関係の仕事につきたいと考えています。美容には、様々な人を輝かせ喜びを与えられる力があると思います。なぜそう考えたのかというと、私は家族の結婚式に出席した際にヘアスタイリストの方にヘアメイクをしてもらった経験があります。プロの方にヘアメイクしてもらい、いつもとは違う自分に出会ったような感覚でその頃の記憶は強く印象に残っています。メイクやヘアスタイルだけで人はこんなにも変わることができるんだと感動し、ヘアメイクアーティストへの道に進みたいなと感じました。

美容関係の仕事につくためには専門学校に進学し、勉強に励み国家試験である美容師免許の所得が必須となります。美容師免許を取ることができたらヘアメイクアーティストに限らず、美容サロンで働く際や自分で独立開業する際にも役立てることができます。しっかりと美容師免許を取り、その資格を活かして就職したいと考えています。

私は高校進学にあたって将来に向けて頑張ろうと思っていたけれど、その頃はまだ美容に関わることをするのが好きなだけで夢が明確ではなく、将来のことはあまりイメージできていませんでした。なので、高校生活を通して夢を明確にし、社会に出ることの基礎となる挨拶や提出物の期限を守るなどを意識し学校生活を送っていききたいと考えていました。

現在の学校生活では入学前と比べ、色々な知識を得ることができました。職場見学などを通し実際の企業に触れ、仕事場の雰囲気や仕事に対する自分の興味などをよく知ることができただけでなく、将来の進路を選ぶ判断材料にもなると思いました。また、学校生活だけではなく社会に出てもコミュニケーション能力は大きな役割になることに気が付きました。コミュニケーション能力は単に言葉を交わすだけではなく、相手の気持を理解し円滑に意思を伝えられる力があると思います。また、自分の考えをしっかりと伝え、相手の意見にも耳を傾ける事のできる力はどんな場面でも役立つと思います。

高校生活は、社会に出るための準備期間だと思います。この3年間で得た知識や経験は、社会人生活に直結すると思います。コミュニケーション力や時間管理、自己管理能力などを意識的に磨き、さまざまな経験を積みながら自分を成長させていきたいです。

そして、私が将来、大事にしたいことは「人とのつながり」と「自己成長」です。まず、「人とのつながり」についてです。人は一人では生きていけないと言われるように、人と支え合い、助け合うことで成長し、困難を乗り越えられると思います。将来的には、家族や友人、職場の仲間などとの絆を大切にしていきたいです。特に、家族は私の支えであり、どんな時でも応援してくれる大切な存在です。その絆を深め、感謝の気持ちを忘れずに接していきたいです。また、社会での人とのつながりは社会的な責任感が育てられると思います。社会で生きる以上他者に対して責任をもち、共に支え合うことが求められます。困っている人を助けることや、地域社会に貢献することなど、つながりを通じて他者への思いやりが生まれ、より良い社会を築くことができると思います。

次に「自己成長」についてです。自分が成長することで、周囲にも良い影響を与えることができると考えています。将来に向けては、知識やスキルを広げるだけでなく、心の成長も重要だと感じています。特に、自分自身に対する理解を深め、感情や考え方を柔軟に持てるようにしたいです。また、どんな状況でも前向きな姿勢を持ち続け、失敗を恐れず挑戦し続けることが大切だと思います。自己成長を追い求める過程で、自分の強みや弱みを受け入れ、他者との違いを尊重することができるようになれば、人間としてもよりよく社会にできるのではないかと考えています。このように、将来は人とのつながりと自己成長を大事にし、周りの人々と共により豊かな人生を築いていきたいと考えています。人生にはさまざまな課題や選択があり、その中で自分がどのように成長し、社会に貢献していくかを意識して進んでいきたいと思っています。

このようなマイライフプランを持ちながら日々努力を重ね、より充実した人生を送りたいと考えています。



「マイライフプラン」

1年4組 佐々木姫音

私は将来、ヘアメイクアップアーティストになりたいと思っています。中学生の頃は洋服がとても好きで、デザイナーやコーディネーターになろうと思っていました。

しかし、高校生になって将来の夢が変わりました。私はヘアメイクアップアーティストになろうと思いました。なぜそう思ったのかというと、自分の姉がメイクしているのを見て楽しそうだなと思ったからです。メイクをしているとその日のモチベーションが上がるし、きれいな自分になることができるのでヘアメイクアップアーティストになろうと思いました。

高校卒業後に頑張りたいことは、2つあります。1つ目は、いまのうちからヘアメイクについての知識や技術を知っておくことです。プロでやっていくには、高い技術が必要だからです。メイク道具の使い方やメイク技法を理解して、決められた時間内でヘアメイクを完成させられるように頑張りたいです。また、人間の骨格や皮膚について理解していきたいです。そうした知識は専門学校の座学で学べるので、今は美容関連の本などで勉強していきたいです。あと化粧品成分に関する化学的知識もしっかりと学んでいきたいです。2つ目は、英語を身につけることです。現在では旅行・長期滞在を目的に日本を訪れ、サービス・技術レベルが高い日本のヘアメイクサロンを利用したという外国人観光客が増えています。外国人と話しながら楽しくヘアメイクをしたいと思ったので、英語を身につけていききたいなと思いました。

次にこれからの学校生活で大切にしたいことについてです。私は高校生活は人生の中で非常に重要な期間であり、多くの経験や学びができると思っています。なので、まずは友人との関係を大切にしていきたいです。友人は支え合い、ともに成長する存在なので、信頼できる友人を持つことで、困難な時期も乗り越えやすくなると思ったからです。次に、学業に対する姿勢です。高校は、進学や将来のキャリアに向けた基盤を築く場所だと思っています。授業に真剣に取り組み、興味のある分野を深めることで、自分の可能性を広げられるからです。また、部活動や趣味を通じて自己表現することも大切だと思います。これにより、チームワークやリーダーシップを学び、自己成長につながります。さらに、学校行事や地域ボランティアに参加することで、社会とのつながりを感じることができ、貴重な体験を得ることができるといったからです。最後に、自分自身の健康管理をしっかりすることです。心身の健康は、充実した学校生活を送るには大切なことです。バランスのとれた食事や適度な運動、十分な睡眠を心がけることで、よりよい日々を過ごすことができるといったからです。高校生活を充実させるには、これらの要素を大切に、自分自身を大切に生きていきたいです。

最後に、私が今後の人生の中で大切にしたいことは、今当たり前前に生きていられる幸せです。私はコロナの自粛生活中、さまざまな思いで一日一日を過ごしました。特に考えたことは、当たり前のように学校に行って友達や家族と遊んだりできる幸せです。コロナ自粛生活の中では友達と遊ぶことも家族のおいしいちゃんおばちゃんに会うこともできませんでした。おじいちゃんおばあちゃんと電話やメールをすることができても、直接顔を合わせて話すことも一緒にご飯を食べることができなくなってしまい、とても悲しかったです。コロナで学校が休校になったときは、正直なところ嬉しいと思っていました。自粛生活のはじめのうちは、学校に行かず家でゴロゴロできるのが嬉しい、楽しいという気持ちばかりで、毎日ゲームやテレビができて幸せだと思っていました。しかし、だんだん日にちが過ぎていくうちに、学校に行って友達と話したい、家族みんなが集まって一緒にご飯を食べたい、と思うようになりました。今まで当たり前だったことが当たり前じゃなくて、今までの生活がとても幸せだったことに気づくことができました。

今まで学校に行くのが当たり前で、友達や家族と楽しい生活を送れるのも当たり前で、嫌なことから逃げていたときもありました。しかし、今は生きていられること、当たり前が当たり前でできることすべてが幸せなことだと感じています。嫌いなことから逃げずに、好きなことにも嫌いなことにも全力をつき、楽しい生活を送れるありがたさを大切にこれから過ごしていきたいと思いました。

